

## 高岡市民病院の経営状況等について

### 1. 経営改善に向けた主な取組内容

#### (1) 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

平成 18 年度～

本院は、「女性のがん、放射線治療」を特色に、地域がん診療連携拠点病院として平成 19 年 1 月 31 日に厚生労働大臣の指定を受けた。

これに即応して、外来化学療法室の設置、同年 4 月には緩和ケア外来やセカンドオピニオン専門外来、6 月には禁煙外来の開設を行った。また、10 月には地域医療部に医療相談室を設け、がん相談支援センターとしてがんに関する相談支援等を行っており、「地域がん診療連携拠点病院」としての機能の強化に努めている。

#### (2) 地域連携の推進

平成 18 年度～

平成 19 年 4 月から高岡医療圏での地域連携システム「高岡れんけいネット」を導入、紹介・逆紹介の推進や C・T・MRI 等高度医療機器の共同利用の促進等に努めている。

#### (3) 入院基本料「7 対 1」の導入

平成 18 年度～

平成 18 年度の診療報酬改定で入院基本料「7 対 1」看護体制の基準が導入されたことに伴い、急性期医療を担う病院として看護部を中心に早くから検討、平成 19 年 6 月から取得した。

今後も効率的な看護師配置による継続的取得に努め、良質な医療を提供することはもとより、ひいては経営改善に繋げていく。

#### (4) 医師等医療スタッフの確保と資質向上

平成 18 年度～

- ① 優秀な医師の確保
- ② 臨床研修医の確保
- ③ 医療技術者育成事業(平成 20 年度～)  
認定看護師資格の取得等

#### (5) 電子カルテシステムの導入と活用

(平成 18 年度、19 年度継続事業)

平成 19 年 10 月に本稼動した電子カルテシステムを最大限に活用し、急性期医療を担う病院として、患者の立場に立った安全・安心な医療の提供に努めている。

#### (6) DPC への取組み

平成 19 年度～

平成 19 年 6 月に DPC 準備病院となり、現在、診療内容の検討及び DPC 対象病院への準備を進めている。

#### (7) 契約形態の見直し

平成 18 年度～

競争原理(入札)の導入を推進し、平成 19 年度以降、出来るものから順次、前年度に債務負担行為を設定するなど、入札方式での契約を進め、効率化を図っていく。

#### (8) 専門外来の充実

本院としての特色を図るため、女性専門外来、緩和ケア外来(再掲)、セカンドオピニオン外来(再掲)、禁煙外来(再掲)はもとより、本年 2 月から「和漢診療外来」を開設した。